

政策番号	19	政策分野	生涯学習
------	----	------	------

基本方針	<p>「豊かな人生は学びとともにある」という観点から、京都ならではの「地域力」, 「文化力」, 「人間力」を結集し、まち全体を学びの場とすることで、子ども・若者から高齢者まであらゆる世代の市民だれもが学ぶ喜びを実感し、みずからを磨き高めて、社会を創造していけるまちづくりを進める。</p> <p>また、次代を担う子どもたちを市民ぐるみで健やかに育むために、「子どもを共に育む京都市民憲章」の実践に向けた取組を市民ぐるみで推進する。</p>
------	---

担当局	教育委員会	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもプラン
---------------------	-------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	24 年度	25 年度	26年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報(講座・イベント等)の数(企画)	2,290	3,000	a	a	2,749	2,744	2,300	119.3%	a
2	京都市図書館入館者数(万人)	431.5	450	b	b	413.3	404.5	437.7	92.4%	b
				a	a					a

施策の客観指標評価		参照 ページ	評価		
施策番号	施策名		24年度	25年度	26年度
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充(2指標)	201	a	a	a
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり(1指標)	203	b	a	a
1903	子どもを共に育む気運づくり(2指標)	205	a	a	a
(3施策平均)			a	a	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価=1:0.5)	24年度	25年度	26年度
	—	—	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		24年度	25年度	26年度
1	京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。	a	a	a
2	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	c	c	c
3	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	c	c	c
4	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	c	c	c
市民生活実感調査総合評価		b	b	b

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

24年度		25年度		26年度	
順位	%	順位	%	順位	%
20	10.2%	16	81.2%	18	81.8%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
<p>【客観指標】●生涯学習情報数については、3年連続a評価と高い評価で安定している。企画の検討や関係団体・企業等への協力依頼を進めた結果、目標以上に増加したことによる。</p> <p>●図書館入館者数については、3年連続b評価と安定している。「予約かご」や「新着資料のお知らせメール」、「ホームページの充実」などの京都市図書館情報システムの更新に伴う休館日数の増加や、醍醐図書館の休館に伴う開館日数の減少など一時的な要因により、実際の利用者数は減少したものの、利用者登録数は増えたことによる。</p> <p>【市民の実感】●京都ならではの学習機会の豊富さについては、文化財や大学の集積といった京都の強みを反映して高く評価されており、3年連続a評価と高い評価で安定している。</p> <p>●生涯にわたって自ら学習したこと、仕事や社会活動での実践については、これまでから学びの成果をまちづくり等に活かすことができる生涯学習を推進してきたものの市民に十分浸透していないため、学習の成果を還元する機会があるという実感までは得られておらず、3年連続c評価が続いている。</p> <p>●幅広い世代がともに学ぶ機会の充実については、地域の各種団体や学校運営協議会、PTAなどが連携した地域コミュニティづくりを推進し、住民の相互交流を深めるためのイベント等、地域に根ざした取組を推進しているが市民に十分浸透していないため、学習する機会があるという実感までは得られておらず、3年連続c評価が続いている。</p> <p>●子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動の広がりについては、家庭や地域の教育力の低下のもと、子育ての不安や孤立感、児童虐待や児童ポルノ、インターネットの不適切利用等、子どもを取り巻く環境が依然として厳しい状況にあることが挙げられるため、3年連続c評価が続いている。</p> <p>【総括】●客観指標が市民の実感を上回る結果となった。</p> <p>●各種の取組を市民の実感につなげることについては、今後も改善の余地があるように思われる。客観指標は一定進捗している。</p> <p>●こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。</p>		25年度	B
		24年度	B

今後の方向性の検討

＜この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価＋市民生活実感評価)＞

施策番号	施策名	総合評価			参照ページ
		24	25	26	
1901	市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充	A	A	A	202
1902	学びが社会に還元されるしくみづくり	B	B	B	204
1903	子どもを共に育む気運づくり	B	B	B	206

＜今後の方向性＞

- 市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の拡充に向けては、豊かな学びの場・機会・人材のネットワークづくりを進め、地域に根差した生涯学習活動の活性化を図るとともに、市民の多様な学習活動を支援し、あらゆる世代の方が自ら楽しんで学び、生涯を通して学び続けられ、その学びの成果をまちづくり、地域、子どもたちの学びと育ちに生かすことができる京都ならではの生涯学習を今後も推進する。
- 学びが社会に還元されるしくみづくりについては、地域の各種団体や学校運営協議会、PTAなどが連携した地域コミュニティづくりを推進し、子どもからお年寄りまで、幅広い世代の住民の相互交流を深めるためのイベント等、地域に根ざした取組を支援する。
- 子どもを共に育む気運づくりに向けては、「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」のもと、「子どもを共に育む京都市民憲章(京都はぐくみ憲章)」の理念が市民生活の隅々にまで浸透し、家庭、地域、学校、企業など、社会のあらゆる場で実践行動が広がるよう取組を進める。

政策名	19	生涯学習
-----	----	------

指標名	京都のまち全体で創りだされる生涯学習情報（講座・イベント等）の数（企画）		
-----	--------------------------------------	--	--

担当部室	生涯学習部	連絡先	251-0410
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市のホームページ上で公開されている、「京まなびネット」「みやこ子ども土曜塾」等において登録されている講座・イベント等の情報数（企画数）

2 指標の意味

京都のまち全体が学びの場となることをめざして、その進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 2,290	平成32年度目標値 3,000	根拠 21年度実績1,986の約1.5倍
----------------------	--------------------	--------------------	-------------------------

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	2,749	2,744	5件減	2,300	平成32年度までに21年度の企画数を1.5倍にするために、当該年度に達成すべき数値。	119.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
a	a	a

指標名	京都市図書館入館者数（万人）		
-----	----------------	--	--

担当部室	中央図書館	連絡先	802-3133
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市立図書館の利用者数

2 指標の意味

京都のまち全体が学びの場となることをめざして、市民に最も身近な学びの拠点である図書館の活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市立図書館20館での利用者数の合計
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の（平成32年度） 目標値	平成23年度評価値 431.5	平成32年度目標値 450.0	根拠 21年度実績430万人からの20万人増の450万人
----------------------	--------------------	--------------------	---------------------------------

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	413.3	404.5	8.8万人減	437.7	平成32年度までに21年度実績から入館者数を20万人増すために当年度達成すべき数値	92.4%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						平成25年1月23日から平成26年3月31日まで、改修工事に伴い醍醐図書館が休館

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

100%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
b	b	b